

論文タイトル

メポリズマブからデュピルマブへ変更後に好酸球性肺炎再燃を  
認めた難治性喘息の1例

● 著者名

佐々木圭

神田響

今里優希

福本洋介

所属先：誠光会 淡海医療センター

・ 要旨

症例は 53 歳女性． 40 歳で喘息を発症． 20XX 年 10 月に好酸球性肺炎を合併した喘息増悪と診断． 経口ステロイドの減量で繰り返し喘鳴と肺炎が再燃し 20XX+1 年 9 月より Mepolizumab を導入． 20XX+3 年 6 月から咳嗽主体の喘息増悪を繰り返し認め， 8 月より Dupilumab へ変更したが， 変更 19 日目より発熱と呼吸困難， 31 日目の末梢血好酸球数が  $11000/\mu\text{L}$  に上昇， 肺陰影の再燃も認めた． 気管支肺胞洗浄で好酸球性肺炎再燃と診断した． 生物学的製剤変更後， 早期に高度の好酸球増多と好酸球性肺炎を再燃した難治性喘息症例を経験したため報告する．

・ キーワード， 短縮タイトル，

キーワード

好酸球性肺炎， 難治性喘息， メポリズマブ， デュピルマブ

Eosinophilic pneumonia, Refractory asthma, Mepolizumab,

Dupilumab

短縮タイトル

生物学的製剤変更で好酸球性肺炎が再燃した喘息の 1 例